



参加者資料

(Version-1)

平成 26 年 1 月 11 日発行



●アジアクロスカントリーラリー

アジアクロスカントリーラリー(英名/Asia Cross Country Rally, 総称/アジアンラリー)は、タイ王国を基点としたアジア各国の山岳部やジャングル、海岸、プランテーション、サーキットなど、アジアの特徴ある地域、路面状況、自然、気候の中で毎年8月に開催されています。

初開催の1996年から2014年までに、タイ王国、マレーシア、シンガポール共和国、中華人民共和国、ラオス人民民主共和国、ベトナム社会主義共和国、カンボジア王国、ミャンマー連邦など8カ国を走破し、毎年コース設定、通過国が変わり今年で19回目を迎えます。

国際自動車連盟(FIA)ならびに国際モーターサイクリズム連盟(FIM)公認のクロスカントリーラリーでアジア最大の大会です。2014年大会は、8月10日(日)にタイ王国のビーチリゾートであるパタヤにおいてセレモニースタートをして開幕します。タイではハイスピードとテクニカル、そしてマッディなセレクトィブセクション(SS)が準備され、8月12日(火)にカンボジア王国に入国します。カンボジアでの開催は、2012年以来2年ぶり4回目となり硬い路面とハイスピードで穴の多いカンボジアでは、世界遺産のアンコールワットを走り抜け、首都プノンペンでのフィニッシュを予定しています。

●2014年大会概要

- 大会名称 : 第19回 アジアクロスカントリーラリー2014
- 公認 : 国際自動車連盟/International Automobile Federation (FIA)
: 国際モーターサイクリズム連盟/International Motorcyclism Federation(FIM)
: タイ王室自動車連盟/Royal Automobile Association of Thailand (RAAT)
: タイモーターサイクル協会/Federation of Motorcycle Sports Thailand(FMSCT)
- 主催 : オルティブタイランド、R1ジャパン
- 協力 : タイ国政府観光庁、パタヤ市、サケオ市、カンボジア政府
- 大会協賛(予定) FEDERAL、FLEX、PROPAK
- 日程 : 2014年8月10日～15日 ※車検、セレモニースタートは9日
- 総距離 : 後日発表



●2014年日程/コース

3月10日(月)	規則書発行/参加受付開始
6月13日(金)	競技参加者(Competitor)の参加受付終了
7月4日(金)	サービス参加者(Service)、サポーターズ参加者(Supporter's)の参加受付終了
8月7日(木)	大会本部開設
8月9日(土)	公式車検(ビラサーキット)/大会公式ブリーフィング/セレモニースタート
8月10日(日)	LEG-1 (パタヤ⇒サケオ)
8月11日(月)	LEG-2 (サケオ⇒サケオ)
8月12日(火)	LEG-3 (サケオ⇒タイ/カンボジア国境⇒アンコールワット)
8月13日(水)	LEG-4 (アンコールワット⇒バターバング)
8月14日(木)	LEG-5 (バターバング⇒プノンペン)
8月15日(金)	LEG-6 (プノンペン⇒プノンペン/表彰パーティ(オフィシャルホテル))



●クラス区分／賞典

クラス区分は国際自動車連盟(FIA)クロスカントリーラリー規定に準拠します。

改造クロスカントリー車両(グループT1)

CLASS 1 :ガソリンエンジン CLASS 2 :ディーゼルエンジン

量産クロスカントリー車両(グループT2)

CLASS 3 :ガソリンエンジン CLASS 4 :ディーゼルエンジン

進化クロスカントリー車両(グループT3)

CLASS 5 :ガソリンエンジン CLASS 6 :ディーゼルエンジン

MOTO 排気量による区分なし

MOTO-T ※ SSの距離が短く、賞金がない

※ 賞典は参加台数によって授与されます。

※ SUVやジムニーが3台以上の参加がある場合、別途それぞれのクラスが成立して賞典対象になる場合があります。

●参加費用

◆AUTO 競技車両 1台2名(ドライバー/コ・ドライバー)	USD 3400
◆MOTO/MOTO-T 競技車両 1台1名(ライダー)	USD 1700
◆3人目のコ・ドライバー*4ドアを有する場合のみ適用	USD 850
◆サポート車両1台2名(サポート員)	USD 1700
◆3人目以上のサポート員(1名に付き)	USD 850
◆チーム賞(1チームに付き) *2~3台を1チームとする	USD 250
◆メディアエントリー費用(1名に付き)	USD 1300
◆サポーターズ参加費用(1名に付き)	USD 1300

※2014年は為替レート(USD/JPY)決定を4月1日に行います。



●AUTO/MOTO/参加費用に含まれているもの

- ・競技参加費用
- ・ルートブッカー式
- ・参加記念品
- ・全ての催しへの参加料(ウエルカムパーティ、表彰パーティ)
- ・宿泊(6泊/2014年8月10・11・12・13・14・15日) ※2名1室が基本
- ・朝食(6回/2014年8月11・12・13・14・15・16日)
- ・夕食(6回/2014年8月10・11・12・13・14・15日)

●競技車両の改造(AUTO)

国際自動車連盟(FIA)クロスカントリーラリー規定に準拠します。

日本自動車連盟から発行されている FIA 国際モータースポーツ競技規則附則 J 項を参考にしてください。

更にアジアクロスカントリーラリーではハイマウントテールランプ(SS は常に点灯し STOP ランプに連動)、ホーン
の追加(2系統)、キルスイッチ(ボンネットは左右 2 箇所)、ファスナー(前後)を取り付けなければなりません。

またエマージェンシーハンマー、ウインドウネットも義務づけになります。

詳しくは3月に発行するアジアクロスカントリーラリー2014特別規則をご参照ください。

ウインチに関しては装着を強く推奨しておりますが、装着義務ではありません。

※T2クラスで参加するチームは、必ず FIA の該当ホモロゲーションペーパーを車検時に提出してください。

●競技車両の改造(MOTO)

MOTO/MOTO-T は国際モーターサイクリズム連盟(FIM)規定に準拠します。

ヘッドライト、テールランプ/ブレーキランプ、ホーン、グリップガード、ライディングギア(フルプロテクター)等
マップホルダーの装着を強く推奨します。



●競技方法について

①競技ライセンス

アジアクロスカントリーラリーに参加するには、ドライビングライセンス(国際免許証)と FIA ライセンス(JAF国際C級以上)が必要となります。大会事務局で取得方法などをご案内致しますのでお問い合わせください。

MOTO 部門は日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)発行の国際ライセンスの申請が必要です。

②競技方法

アジアクロスカントリーラリーは、国際自動車連盟クロスカントリーラリー規則に基づきます。

セレクトィブセクション(SS)とロードセクション(RS)から構成され、ロードブック並びにタイムスケジュールに沿って競技が進行します。

コースは基本的にロードブックを主とし、主催者が必要と判断した場合にはコースマーキングを施します。

主なマーキングの方法は下記の通りです。

- アロー／アローの向きによって曲がる場所、方向、コーナーの角度を示します。
- シーリングテープ／ミスコースを防ぐために判りにくいSS中の枝道などにシーリングをします。
- クロスマーク／ミスコースを示しています。
- コーションマーク／危険マークのことで、枚数によって3段階表示になっています。
 - ! (1枚)・・・危険、注意すること
 - !! (2枚)・・・大変危険、スピードを落とし十分注意すること
 - !!! (3枚)・・・大変危険、止まるくらい速度を落とし十分注意すること
- TCマーク /TCポイントやSSIに関して FIA の標準サインを使用します。



タイ王国は日本と同じ左側通行ですが、カンボジアに入ると右側通行に変わりますので十分に注意してください。

セレクトィブセクションは、タイ王国とカンボジアの大自然を舞台に行われます。

従って、あらゆる状況のコース、天候の中を走ることになります。また、アジアンラリーでは村の生活になるべく負担や規制を与えないことを条件に開催している都合上、一部のエリアでは完全道路閉鎖をしませんので注意してください。

③ ロードブック

ルートマブックには全体コース図のほかに緊急連絡先、用語解説、タイムスケジュール、コース状況、SS並びにRSのコマ地図、ガソリンスタンドの位置など各種情報が記載されており、競技進行の重要な手がかりとなっています。MOTO はロール加工ができるタイプを準備します。



④ サービスエリア

SS内はサービス禁止となります。

その他のエリアでは、主催者に登録しているサービスクルーによりサービスをすることができます。

2014カンボジア年度大会では、SS内に特別にサービスエリアを設ける場合があります。

オフィシャルホテル内にもコンパウンドエリア(サービスは可能だが車両をエリア外に持ち出すことは禁止されるエリア)を設けますが、サービスは競技者ならびにサービスクルーとして登録されたクルーだけが車両に触れることができます。



⑤ 燃料

各自ガソリンスタンドで給油してください。



●車両およびパーツの輸出入について

競技車両とパーツの日本⇄タイ王国への輸出入に関しては、希望チームは事務局が代行いたします。その場合、英文書類作成やカルネの取得も一括で行いますので、参加者の方は車両とパーツを指定場所に搬入搬出して頂きます。

ラリー後もタイ王国(バンコク市内)指定倉庫に車両とパーツを預けていただければ、その後、日本でのお引き渡し日をご連絡致しますので、指定倉庫にて引き取ることができます。

日本の指定倉庫は横浜になります。

◆輸出入書類作成のための情報期限予定: 7月4日(金)

◆横浜港指定倉庫への車両/パーツの搬入予定: 7月10日(木)、11日(金)

◆タイ指定場所(ビラサーキットを予定)での車両/パーツの受け渡し予定: 8月5日(火)～

◆ラリー終了後の指定倉庫への搬入予定: 8月16日(土)～18日(月) ※パタヤ/BIRA サーキット

◆横浜港指定倉庫での車両/パーツの受け渡し予定: 9月8日(月)～



●オフィシャルホテル・食事

大会本部、車両整備保管場所(コンパウンドエリア)は、すべてオフィシャルホテルに設置されます。

アジアクロスカントリーラリーでは、チームごとの部屋割りが基本となり、8月10日(IN)～8月16日(OUT)までの宿泊がエントリー費用に含まれています。

食事は2014年8月11日～16日の朝食と8月10日～15日の夕食(パーティ含む)をご用意します。

昼食は各チームで対応してください。

●サービス

サービスはSS区間以外(SS内に指定されたエリアを設ける場合がある)において競技参加者をアシストし、パーツを運搬することができます。

参加登録をされた場合には以下のものが含まれています。

- ・競技会サービス参加費用
- ・サービス用ルートブッカー式(1セット)
- ・参加記念品
- ・全ての催しへの参加料表彰パーティなど)
- ・宿泊(6泊/2014年8月10・11・12・13・14・15日)
- ・朝食(6回/2014年8月11・12・13・14・15・16日)
- ・夕食(6回/2014年8月10・11・12・13・14・15日)

●保険

海外旅行傷害保険への加入をお勧めします。ただし一般の海外旅行傷害保険はラリー中の事故等をカバーすることはできません。海外旅行傷害保険にラリー中の特別担保をした場合はラリー中もカバーすることになります。ラリー中もカバーする特別保険への加入をご希望の方は事務局へお問い合わせください。

MOTO/ATV 部門参加者はラリー中をカバーする保険は義務です。MFJでも加入可能です。

※サービス、サポーターズ参加の方は特約の必要はありません。



●SUPPORTER'S

アジアクロスカントリーラリーのサポーターズは、競技ではありません。基本的にタイ人ドライバーが運転する4WD車で移動しますが、ラリー同様のコマ地図とサービス用地図を使いますので、一緒になってラリーを追いかけていきます。その日のハイライトシーンを何箇所も見ることが出来ますので、写真を取りながら応援しましょう。応援する選手の走りを間近で見ながらチャッカリ観光やローカルフードも楽しめる!!

◆参加資格:健康な男女

◆サポーターズ概要

- (1)基本的に運転はドライバーします。
- (2)毎日好きな場所で応援!! SSスタートエリア、各SSの中で数か所、SSフィニッシュエリアなど
- (3)ナビゲーションやロードブックの読み方の勉強ができます。
- (4)大会中にラリーの規則や流れを習得できるプログラムを希望者に実施します。
- (5)ガソリン代、高速代等は一切かかりません。
- (6)サポーターズもラリーと同様のゼッケン、ステッカーを貼付、IDカードなど同様のアイテムが配布されますので準備して頂きます。
- (7)スタート/フィニッシュのセレモニー、表彰パーティ等の併催行事にも参加します。
- (8)サポーターズの参加者は、競技者/競技車両を手伝う行為、パーツ等を運搬することは出来ません。
但し、水や食べ物等の差し入れは可能です。
- (9)海外旅行傷害保険の加入をお勧めします。

◆参加費用と内容(申込期間/7月5日まで)

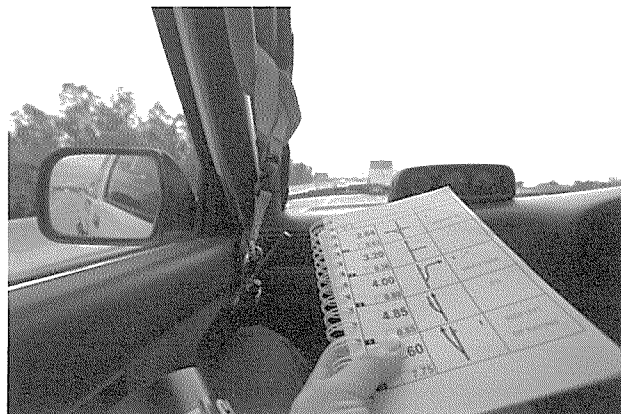
参加日程:(8月11日~16日)

※LEGの途中から(途中まで)の参加も可能です。その場合は1日に付き所定の金額が差し引かれます。

- ・宿泊(6泊/2014年8月10・11・12・13・14・15日) ※2名1室が基本
- ・朝食(6回/2014年8月11・12・13・14・15・16日)
- ・夕食(6回/2014年8月10・11・12・13・14・15日)
- ・車両は8月9日のパタヤから大会終了後の16日にバンコク/パタヤへ戻るまで
- ・その他、大会記念品、IDカード、車両ゼッケン、ロードブック等

◆含まれないもの

- ・自宅⇄日本の各空港までの移動費
- ・日本⇄タイ/バンコクまでの往復航空券
- ・バンコク空港⇄ホテルの交通費
- ・大会前後の宿泊、食事等
- ・昼食
- ・ミニバー等、個人使用分



●参加料を除くコストの目安と対策、その他情報

本情報の換算レートは2014年1月初旬、10000円で3000バーツを規準として算出しております。
本年8月の大会時とは異なることが考えられますので、あくまで参考としてください。

ー航空券

航空会社と旅行代理店の関わりが近年大幅に変わり、代理店を通すより航空会社のホームページで購入する方が安い。燃料サーチャージ、税込みで4万円代後半～8万円代が相場。早期割引があるので、参加が決まったら早めに手続きをしましょう。

ーパスポート/VISA

パスポートは残存期間が6カ月以上ないと入国できない場合がありますので、十分注意してください。
カンボジア VISA を各自で取得してください。

ー大会前後の宿泊 ※下記は事務局で予約可能です。お支払いは現地にて 詳細は後日発表

ー船代金(往復船代金、作業、通関、書類関係一式)

大会参加にあたり一番掛る費用が SHIPPING です。

煩雑な手続きと時間、手間が掛る為、事務局では一括して業者に依頼するシステムを取っています。

4 輪 1 台 + スペアタイヤ/パーツ等 予価 52.5 万円 ※ジムニー3 台の場合は安くなるようです。

2 輪 1 台 + スペアタイヤ/パーツ等 予価 12 万円 ※サケオからパタヤへの返送料含む

ータクシー

空港からはリムジンタクシーと公共タクシーがあります。リムジンタクシーは到着階からパタヤまで 2200 バーツ(約 6600 円)から

公共タクシーは到着階より1階におけるとタクシー乗り場があり、パタヤまで 1500 バーツ(約 4500 円)。

バンコクのホテルから空港までは 300 バーツ(約 900 円)前後が相場です。



ー両替

日本でのタイバーツ交換レートは非常に率が悪く、バンコクの空港内や市中銀行で両替を実施してください。
カンボアはUSドルをご準備ください。

ー通信

プリペイド式の携帯をタイで購入するのをお勧めします。携帯電話は 500 バーツ(約1500円)～
日本からシムフリーのスマートフォンを持っていくと便利です。

-燃料

ガソリンスタンドで各自給油してください。

ガソリンスタンドにはコンビニ、食堂、トイレなども併設している所が多いので便利です。

※タイのガソリンにはガスホールと呼ばれるミックスタイプもありますので、給油は十分に注意してください。

ガソリン価格は非常に変動しやすいですが、おおよそ次の値段で計画してください。

ガソリン/42 パーツ/ℓ 約 126 円 ディーゼル/32 パーツ/ℓ 約 96 円

-保険

海外旅行傷害保険にラリーの日程だけ特約を付ける方法がおすすめです。

約 10 日として 3 万円前後から 通常の保険は 3 千円弱程度から

-サービスカー

バンコクでワンボックスの車両をドライバー付きで貸し切り契約することが出来ます。

2000 パーツ(約 6000 円)/1 日から。 ガソリン/高速代は別途。

ドライバーの宿泊費等が別途かかります。

-MOTOクラスでの TEAM JAPAN 合同サポート

日本から MOTO クラスに参加するために、ワンボックスタイプのサービスカーで TEAM JAPAN をサポートすることを昨年に引き続き計画しています。

サービスカーには各自のガソリン缶、簡単な工具、スペアパーツ、食事、飲料などを運搬します。

最終的費用は参加人数にもよりますが、30000 円前後/ 1 名を予定しています。

※台数が増えればサービスカーを2台出すことも検討します。



- プノンペンからタイへ

大会終了後、カンボジアのプノンペンからタイのサケオまで自走で戻りますが、希望者はプノンペンからバンコクまでは飛行機で戻ることも可能です。

-その他の参考費用

コーラ(350ml)	13 パーツ	約 39
コーヒー	10 パーツ	約 30 円
ミネラルウォーター	10 パーツ	約 30 円
チャーハン/焼きそば等	50 パーツ	約 150 円
タイマッサージ	300 パーツ	約 900 円 ※2 時間

●参加申し込みから出発まで

参加が決定したら、エントリーフォームに必要事項を記入し事務局まで郵送してください。

顔写真はデータとしてメールで送ってください。申込時点でパスポートナンバーおよび車両ナンバー等が決定していない方は、その項目は決定次第のご連絡でけっこうです。パスポートは有効期限が6カ月未満の場合入国できませんので新しいパスポートを申請してください。

各種情報や渡航に関するご案内は、申し込みが確認された後、随時参加者あてに郵送またはメールでお知らせいたします。

●各種情報

ホームページ: www.rljapan.net/axcr 2014年2月にアップ

フェイスブック: “Asia Cross Country Rally” では新しい情報を随時アップしていきます。

●お問い合わせ

アジアクロスカントリーラリー事務局

〒171-0032 東京都豊島区雑司ヶ谷 3-3-25-903

メール: ortev@tkh.att.ne.jp

携帯電話: 090-2171-1233